

三友会だより

第50号

平成22年4月20日発行
宮崎市神宮西1-49-1
TEL : (0985)32-2234
<http://www.sanyu-kai.jp/>
発行者 石川 智信

桜の木の下で思う

石川智信

「かわいいね」。小さくふくらみだした桜の蕾を見つけて、妻はご満悦である。今年の桜の開花は早そうだと、その時は思った。しかし開花は遅れ続け、なかなか満開にならない。それどころか先に咲いた花がつつぎつつぎに散っていく。満開のあでやかさを愛でることのないまま、葉桜が目立つようになってしまった。しかし妻はその時々の変化を、ゆっくりと散歩しながら、「いいねー、すごくいいねー」と楽しんでいた。確かに桜も私たち人間も、毎年同じであり続けるはずがないわけで、その時々のある様子を素直に楽しめるかどうかは、それぞれの心の感受性の深さによるものなのだろう。古来より日本人は蕾には希望を、咲いた花には命の輝きを、散っていく花弁には命のはかなさを感じて生きてきた。そして葉桜には来春芽吹くはずの新たな命を確信して、自然が教えてくれる命の受け継ぎの素晴らしさを、体感してきたのであろう。

木村拓也コーチの死を報じるテレビニュースを見て、「どうして、ねえどうして」と涙ぐんでいた妻は、クモ膜下出血という自分と同じ病で天逝した南高校の後輩に、様々な思いを巡らせたのであろう。「こ・ど・もは？お・く・さんは？」と必死に聞いてくる。命をながらえた者と、そうでなかった者との間には何の違いがあったというのだろうか。ただ運命としかいいようがないのであろうか。

リハビリで描き始めた絵もかなり増えてきた。以前は野菜や果物などが多かったが、春を迎えて花を描くことが多くなった。先日、妻の大学の同期生達が集まって、激励会を開いてくださった。妻は宮崎医大の1期生である。宮崎に残っている30余名の同期生の中から23名もの方が駆けつけてくれた。妻は皆を驚かそうと、娘ともども着物をきて出席した。草履をきれいなひもで足にくくりつけて何とか歩いて会場に入った。会場には自分の絵を10枚ほど掛けさせてもらっていた。倒れてから1年半、久しぶりの対面に化粧が台無しになるほど涙がとめどなく流れ続けた。彼ら1期生は、まだ大学の建物もなく、もちろん先輩もいない中、仮校舎で学びながら新しい大学を作っていた仲間である。そのためか団結力が非常に強い。卒業して30年、それぞれが教授になったり病院長を務めたりして忙しい中時間を割いて、妻の生還を心から喜んでくれた。そしてこの1年あまり描き続けた絵の変化をみて、前を見続けて生きる妻の姿に勇気をもらえたと言っていた。「神様はいるよ。だから頑張る」と最近よく口にする。

命を助けられた者には、まだこの世で果たさなければならぬ責務があると言いたいらしい。あまりに頑張りすぎる様子に心が痛くなることもあるが、安らかな寝息をたてて無邪気に眠る姿をみると、我が家の天使は来春の桜を今年よりもきれいに咲かせてくれるだろうと予感してしまう。



義母の名はチヨちゃん

坂本 明

『あれから七年』

この紙面でチヨちゃんを紹介させてもらい、早や七年が過ぎ、チヨちゃんは84歳になりました。持病の喘息や足の痛みを除けば、心身ともに毎日元気に過ごしています。かくゆう私も数年前に還暦を迎え、家族で盛大に還暦祝いをしました。思いもよらず、チヨちゃんから赤いチャンチャンコと赤い帽子をプレゼントされ、涙が出る程感激しました。祝いの席で、いつの間にかチヨちゃんは赤いチャンチャンコと赤い帽子をひょいとかぶり、大黒さんのような笑顔で記念写真におさまりました。私の部屋に貼ってあるその写真を見ながら、楽しかった一日を懐かしく思い出しています。



『趣味が役立つ人形作りに』

月に一回行われる地区の老人会には、毎月楽しく参加しています。三月のひなまつり老人会には、家にひな人形がある人は持って来て欲しいとの連絡がありました。チヨちゃんは、がぜん人形作りに張り切りました。得意のカントリードールというものらしいですが、80歳になった時、私の妻と近くのお人形作りの教室に通いました。まずボディを作り、パンツ、スカート、上着、エプロンを着せていきます。そして髪をつけ顔を描きますが、どうも顔を描くのが苦手らしく、時に妻が手伝います。出来上がった人形は、どこかチヨちゃんに似てかわいく、ちとお茶目なところもあり、本人も大満足の様です。3体の人形を作り老人会に持って行きました。その人形をみんなからかわいいと誉められ気を良くしたチヨちゃんは、好きな人にあげますよと言ったところ希望者が多く、とうとうジャンケンをして最後に勝ち残った三人の方に差し上げることになり、会場也大盛り上がり、喜んでもらえてとても楽しかったと話してくれました。

この前は、私が少しばかり始めた料理作りのために、余ったカーテン生地で作ってくれました。ミシン使いは上手なのですが、カーテン生地で作るその発想に驚かされました。

特別寄稿「義母の名はチヨちゃん」は、続きがあり、続編は次回の7月号に掲載いたします。



祇園デイサービスの紹介

管理者 田原公彦

祇園デイサービスセンター（祇園 2 丁目）は平成 14 年 2 月にオープンしました。今日まで、主に認知症の高齢者とそのご家族を支援するために、下の写真のような入浴や食事などの日帰りサービスを行ってきました。



健康チェック



送迎サービス



入浴サービス



食事サービス



健康体操



認知症予防

しかし、身体機能面に対するリハビリテーションが十分に行われていなかったため、この4月より専属の理学療法士を配置し、トレーニング用の機器も導入して、専門的なリハビリを実施できる体制を整えました。また、作業療法や言語療法が必要なご利用者にはいしかわ内科のスタッフ（作業療法士および言語聴覚士）が赴き、それぞれ専門的な訓練を行います。ちょっと足腰が弱くなってこられた方のトレーニング、腰痛・膝痛などの痛みの治療（マッサージや電気治療）、起き上がりや歩行の練習、着替えや食事などの日常生活動作の練習、言語訓練、認知症に対する脳活性プログラム、回想療法など、年齢や病気や障害の程度に差があっても、可能な限り、元気になってもらうための身体的・精神的なリハビリを行います。



習字教室

長友 眸

ご縁がありまして、習字教室のお手伝いをさせて頂くようになりハッ月が過ぎます。もともと『いしかわ内科』医院開業以来、私自身患者の一人としてお世話になっておりますし、また、院長先生をはじめスタッフの皆さん方、多くの患者さん方へのご献身ぶりは言うに及ばず、地域神宮西へのご支援は並々ならぬものを戴き、只々感謝とお礼を申し上げるところでございます。

そんな状況の中、昨年、私『慢性硬膜下血腫』で入院手術、お陰様で無事退院出来、元氣を取り戻すべく、近くの文化公園などでウォーキングする日が続いていました。そのような時に『習字』へのチャンスを与えて戴きました。

『習字』は、毎週土曜日、午後一時半から三時ごろまで。筆を執って書き始められると、ものも言わずひたすら手本に迫られます。何枚か書かれるうちに、その日の課題をクリアされ、「合格」の言葉をお掛けするのです。その時のみなさんの達成感は私にも強く伝わり嬉しい限りです。習字が終ると『お茶の時間』となり、明るい笑顔でスタッフさんのお茶とお菓子を戴くのです。中には自分持参の珍しいお菓子を並べお話も弾みます。書いている時の緊張感もふっと吐く息と共に溶ける。ざっくばらんのお話の中に、「習字はむずかしいが書けたあとは嬉しい。」「小学校以来の習字だけと思ったより上手に書けた。」「はじめは手が震えて自分の名前も書けなかったのに一応一人前に書けるようになった。」「とにかく土曜日の習字の時間は楽しい。」などなど輝いたまなこで語られる皆さんの顔はすばらしい。そんな『習字教室』、私自身が皆さんから戴く元氣で続けていきたい思いです。どうぞよろしくお願い致します。

昨年より、毎週土曜の午後から、書道教室の指導のボランティアをお願いしております。少数で始まった教室も月日を重ねる毎に増え、参加者は『楽しみ』から『生きがいになった』と話される方もいらっしゃいます。



デイケアボランティアの方からの寄稿②

縁(えん)

橋口 孝俊

2004年から2006年にかけて、中国の南昌市に滞在しました。現地語が全く話せない日本語教師でした。地元の大学と契約を交わした折に、同僚であり大変世話になった中国人の女性日本語講師に「これもなにかの縁ね、縁は大切にしたいね。」と言われました。彼女との偶然の出会いに始まり、当大学最初の日本人教師となって、合縁奇縁を覚えました。滞在期間中には、北京や上海で激しい反日デモがありました。その頃、学生が実家に案内してくれると言うので、迷ったあげく、列車に17時間揺られて、小都市郊外の小さな農業集落に行きました。昭和20年代の宮崎の風景を彷彿させました。同年輩の朴訥なおじいさん達に迎えられて、心のこもった昼食をご馳走になりました。孫の日本語教師というだけでの私への歓待は、まさしく“縁に連れば、唐の物を食う”印象が鮮やかです。

去年の11月からの三友会との縁も、たまたま院内で見たポスターからです。お世辞にも強くありませんが、デイケアを利用される方々で、囲碁を楽しまれる方の相手になれば一との単純な思いでした。手談を交わすことは、双方に活力を与えてくれるようです。デイケアの実態を垣間見ることもできます。孫ほどの年齢の違うスタッフの皆さんのきびきびした動作や利用者との軽やかな会話に、仕事への熱意や苦心、使命感さえ伺えます。さまざまな器具を使いながらリハビリにいそしむ先輩達を見ると、遠くない時期の私に重なり、心強く感じます。

こうして福祉サービスのほんの一端に触れながら思うことは、誰が、いつ、どこで、どんな福祉サービスを受けたいか、また提供できるか、総合的に把握できないだろうかということです。すでにNPOなどが手がけているのかもしれませんが情報として伝わっていない感じです。例えば、囲碁や将棋が福祉サービスの一種だとすれば、地域自治区の住民ぐらいには、「そのどんな施設でサービスが受けられますよー」「ボランティアも派遣できますよー」など周知できないでしょうか。

否応なく人生の終末期を見聞きさせられるこの頃、むすばれた縁もゆかりも大事にしたいと念じます。

昨年より、囲碁のボランティアとして毎週水曜日の午後より来て頂いております。囲碁を楽しまれるご利用者にとって、今や、掛けがえのない貴重な時間となっております。



第32回神宮西地区文化祭

神宮西町で精力的に活動されている方々のお披露目の場である文化祭が、平成22年3月7日（日）に開催されました。今年でなんと、32回。たくさんの方の自信作からは、長年培ってきた経験や伝統を感じられ、観る者に生きる事の喜びをも与えてくれる力作ぞろいでした。また、展示品の他に、出来たての餅入りぜんざいや焼きそば、地鶏の炭火焼など、子供からお年寄りまで家族で楽しめる文化祭でした。当院の職員も多数参加させて頂きありがとうございました。



神宮西町の役員の皆様、早朝準備から遅くの片づけお疲れ様でした。
来年の開催を楽しみに致しております。

文責：吉原（ディケア）

黒木 誠（くろぎ まこと）
[リハビリ]



理学療法士の
黒木誠です。

血液型はB型です。デイケア利用者
様・ご家族の方々が笑顔で楽しく在宅生
活が送れるように、少しでも手助けして
いきたいと思っています。これからよ
ろしくお願いします。

蒲生菜摘（かもう なつみ）
[リハビリ]



言語聴覚士の
蒲生菜摘です。

高校を卒業してから、広島～埼玉～鹿児
島と流れ、やっと宮崎に落ち着きまし
た。今、都城から通勤しているので、宮
崎市内に引っ越しを考えているところ
です。お勧めの場所があったら教えてく
ださい！

新人紹介

小林 理恵（こばやし りえ）
[外来 看護師]



初めまして。

3人の子供がいます。
明るく優しいスタッフと一緒に働いて、
毎日が楽しいです。これからどうぞよ
ろしくお願いします。

黒木俊輔（くろき しゅんすけ）
[リハビリ]



黒木俊輔です。
23 歳独身です。
作業療法士として

働かせて頂くことになりました。早く仕
事に慣れることと、より多くのことを学
ぼうと毎日一生懸命です。最近はおいし
いラーメンを食べに行くことにはまっ
ています。お酒も好きなので、いつか皆
さんと飲みに行けることを楽しみにし
ています。今後ともよろしくお願いしま
す。

岡崎あかり（おかざき あかり）
[デイケア 介護福祉士]



いしかわ内科と同じ
神宮西に住んでいる
岡崎と申します。

その人らしい生活ができるように支援
が出来るように1日も早く皆様の名
前・顔を覚え、頑張ります。

江本 憲昭（えもと のりあき）
[デイケア 介護福祉士]



今年卒業したばかりで
何もわかりませんが精
一杯頑張っていきます。

趣味はバトミントン・
バレーボール・ソフトボールをする事が
好きです。気軽に声をかけてくださ
い。

山牟田 恵利（やまむた えり）
[祇園デイサービス 介護士]



平成 22 年 4 月より祇園デイサービスセンターに勤務させて
頂くことになりました。これから、三友会の皆様に教えて
いただきながら努めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。

医師紹介

平成22年4月19日より、下記の先生方が、当院
外来診察をしていただく事となりました。
どうぞよろしくお願いいたします。

下田 晴子（しもだ はるこ）

宮大2内科から
月曜日に診療
させて頂くこと



になりました。個人医院でのお仕事は
初めてですが、お役に立てるよう頑張
ります。
よろしくお願いいたします。

山縣 美奈子（やまがた みなこ）

4月20日より
火曜日に勤務と
なります



山縣美奈子です。
慣れない外来業務で初日よりずい分
とご迷惑をおかけしましたが、頑張
りますので、宜しくお願いします。

新しい先生が来られましたので、当院の診療が下記の通り変わります。
これまでは、月曜の午後休診で皆様方には大変ご迷惑をおかけいたしました。
今後ともよろしくお願いいたします。尚、午後は訪問診療の為、院長（石川）は
不在となります。

	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:30	石川 下田	石川 山縣	石川 松本	石川 松本	石川 松本	宮大医師 (石川)
午後 14:00~18:00	下田	山縣	松本	松本	松本	宮大医師 (15:00 まで)

～お知らせ～

いしかわ内科のホームページが出来ました。
アドレスは、
<http://www.sanyu-kai.jp/>
となっております。

是非一度、アクセスしてください。



【編集後記】

今年は、4月の声を聞いても寒い日が続いています。また、例年と比べて雨も多いように感じます。

さて、いしかわ内科も新年度を迎え、新しい先生や職員が入職し、新たな気持ちで地域の診療に携わって行きたいと思います。

ご指導・ご鞭撻
の程、よろしく
お願いします。
(甲斐)

